

平成24年行政事業レビューシート (環境省)

<b>事業名</b>	里地里山保全活用行動推進事業		<b>担当部局</b>	自然環境局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成20年度 (平成23年度事業名改定)		<b>担当課室</b>	自然環境計画課		課長 塚本 瑞天		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	5-2 自然環境の保全・再生				
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	-		<b>関係する計 画、通知等</b>	生物多様性国家戦略2010第2部第1章第6節、 第2部第2章第4節1.3				
<b>事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)</b>	里地里山の保全活動の全国的な展開を図るとともに、自然資源の持続可能な利用・管理の枠組みを構築し、自然共生社会を実現する。							
<b>事業概要 (5行程度以 内。別添可)</b>	里地里山の保全活動を効率的かつ継続可能な取組とするため、里地里山の保全活用の取組について調査・分析を行い、特徴的な取組事例についての情報を発信する。また、保全活動の担い手の育成支援のための技術研修会の開催や里地里山の生態系管理などに関する専門家などの人材の登録・紹介を行うとともに、多様な主体の参加の促進を図るため、活動への参加を募集する全国の活動団体や活動場所等を紹介するための情報発信を行う。さらに、全国各地において里地里山の保全活動の展開を図ることを目的に策定した「里地里山保全活用行動計画」の促進を図るため、里地里山における自然資源の管理・利活用方策についての検討を行うほか、保全再生活動への多様な主体の参加を図るための社会システムを構築し、地域での自立的な里地里山の保全再生の促進を図る。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・ 執行額 (単位:百万円)</b>	<b>予算 の 状 況</b>	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	92	91	91	24	24	
	執行額	90	83	90				
	執行率(%)	98	91	99				
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	<b>成果指標</b>			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	成果指標については、活動団体数や活動への参加者数の増加数等が考えられるが全国には不特定多数の活動組織が存在することからその確実な把握が困難であるため		成果実績	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	<b>活動指標</b>			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	保全活動の技術支援や担い手育成支援としての「里なび研修会」の開催及び技術方策等の整理・発信		活動実績 (当初見込み)	地域	10	10 ( 10 )	10 ( 10 )	- ( 5 )
<b>単位当たり コスト</b>	<b>研修会開催・技術方策の発信 (1,260,000円/地域)</b>		算出根拠	X=委託金額:12,600,000円 Y=研修会開催地域数:10地域				
<b>平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳</b>	<b>費目</b>	24年度当初予算	25年度要求	<b>主な増減理由</b>				
	環境保全調査等委託費	24	24					
	計	24	24					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	△	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	里地里山は野生生物の生息環境として重要な地域であるとともに、水、食料、燃料の供給や土壌浸食の低減、水源涵養などの役割など広く国民に自然の恵みを与えている重要な地域であることから、その保全活用を行う本事業の必要性は高いと考えられる。また、里地里山の保全活用については、全国レベル、地域レベル、個別団体レベルでの各々の役割の基、効率的・効果的に進める必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出先の選定にあたっては、契約方式に総合評価落札方式を導入するなどその透明性・公平性・競争性の確保は図られている。 単位当たりコストについては、既に必要最小限の成果を求める内容に限定していることから、これ以上の削減は困難と考えるが、今後は当該事業効果を見極め、より効果的な項目を見極め実施することとしたい。
	△	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	情報発信や技術支援においては、活動参加者数の増加や多様な主体との連携が図られるなどの効果が認められている。 保全活用を促進するための効果的な手法については、H24年度にこれまでの検討結果等をも踏まえ整備されるため、これによる全国での保全活用の促進が期待されることと。
	×	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>当該事業の実施により一部の地域において保全活動への参加者数の増加や多様な主体との連携の促進が図られるなどの効果が認められていることから、今後も引き続き地域での自主的な里地里山の保全活用が持続的に行われるために効果的な情報発信や必要な技術的支援を行うこととする。</p> <p>一方、保全活用を促進するための効果的な手法として、自然資源の利活用策や多様な主体の参加を促進するための方策、また、地方自治体の保全活用の取組を促進するための典型的な里地里山の選定手法、個別活動団体の活動の志気を高めるための保全活動による推進効果の検証方法など、これまで数年をかけて検討してきたところであり、ようやく一部の手法が確立されることから、今後はその成果の活用を促すための普及に努めるとともに、これによる保全活動の広がりが期待されることである。</p> <p>なお、本事業の平成24年度予算は対前年26%と大幅に削減がなされた。里地里山の保全活用の取組についてはこれまでの取組により着実にその広がりは認められてきているが都市部周辺に偏っており、生物多様性保全上重要な中山間地域では未だ十分な広がりは見られていないことが分かってきた。このため、今後も中山間地域の活動の促進を図るために効果的な手法等の検討を行っていくことが重要であることから、限られた予算の中でより効果的な手法の検討を行うとともに、今後とも公平性・透明性・競争性のある調達に努め、効率的な執行を行うとともに、目的に即した効果的・効率的な事業の実施に努める。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>国、地方自治体及び民間等の役割を明確にし、国が予算計上すべき事業を精査した上で、事業内容を重点化することとし、効果的・効率的な事業実施に努めるべき。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	－		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	172	平成23年行政事業レビュー	164

※平成23年度実績を記入

環境省  
91百万円

里地里山の保全活動の全国的な展開を図るとともに、世界の自然資源の持続可能な利用・管理の枠組みを構築し、自然共生社会を実現する。

【総合評価】

A. (財)国立公園協会  
24百万円

里地里山保全活用行動計画の促進に向けた各種手法について専門家により構成する検討会議を開催し、その手法の検討及び取りまとめを実施

【総合評価】

D. (株)ブラック研究所  
19百万円

活動への参加要望主体と受入れ可能地域とのニーズに応じたマッチングプログラムの作成及び選定手法の検討及び取りまとめを実施

【総合評価】

B. (株)森里川海生業研究所  
13百万円

保全活動を促進するための技術研修会の開催及びその成果の取りまとめ及び発信

【総合評価】

C. 学校法人東京農業大学  
35百万円

野生生物に着目した地域活性化手法について全国10ヶ所において試行的取組を通じての検討を実施

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごと  
 に最大の金額が支出され  
 ている者について記載す  
 る。費目と使途の双方  
 で実情が分かるように記  
 載)

A.(財)国立公園協会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	総括研究員及び研究員	16			
外部委託	(財)自然環境研究センター 典型的な里地里山の選定手法の検討	5			
その他	謝金、損料、印刷製本費 等	3			
計		24	計		0
B.(株)森里川海生業研究所			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	総括研究員及び研究員	9			
旅費	職員	1			
その他	謝金、印刷、通信、借料 等	3			
計		13	計		0
C.学校法人 東京農業大学			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	総括研究員及び研究員	20			
旅費	職員	4			
諸謝金	専門家	1			
その他	印刷、通信、借料、消耗品等	10			
計		35	計		0
D.(株)プレック研究所			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	総括研究員及び研究員	11			
外部委託	NPO協働の森ネットワーク 協働プログラム開発等	8			
計		19	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)国立公園協会	里地里山保全活用計画推進委託業務	24	2	96.3
2					
3					
4					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)森里川海生業研究所	里地里山保全活動支援委託業務	13	3	93.2
2					
3					
4					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	学校法人東京農業大学	野生生物の利活用による地域づくり試行検討調査委託業務	35	5	75
2					
3					
4					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)プレック研究所	里地里山地域のニーズに応じた多様な主体のマッチング手法検討委託業務	19	1	95.8
2					
3					
4					